

「職員研修の合同実施」(H25. 5～)

【幹事】 福岡県 職員研修所

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

目的

- ・九州・山口各県の施策や経済界等からの提言等について、学び、議論し、互いに刺激し合うことによって研修生の広域的な視野の涵養と政策形成能力の向上を図る。
- ・研修での議論を通じて、九州・山口の共同体意識の醸成、さらに広域行政課題の共有化などを進める。

取組内容・成果

平成29年度は「スポーツ振興を通じた地域活性化」をテーマとし、8月及び9月に延べ6日間の集合研修を実施し、18名が受講した。

<基調講演>

<講義>

※ 過年度のテーマと受講人数

平成28年度:「農林水産業の競争力強化」、26名

平成27年度:「観光振興」、25名

平成26年度:「少子高齢化」、37名



○ 研修内容等

<基調講演>

- ・「ゴールデンスポーツイヤーズを契機としたスポーツによる地域創生」
(早稲田大学スポーツ科学学術院教授 間野 義之 氏)

<講義>

- ・「知恵と技術の共有による新しい政策形成に向けて」
(シンクタンク・バードウィング代表 鳥丸 聡 コーディネーター)
- ・「スポーツ振興を通じた地域活性化」(九州スポーツツーリズム推進協議会 代表理事 杉島 幸治 氏)

<視察>

- ・HAWKSベースボールパーク筑後(福岡県筑後市)

<視察風景>



<施策紹介>

- ・(大分県)自転車で繋ぐ大分・愛媛地域間交流促進事業
- ・(宮崎県)東京五輪等事前合宿誘致推進事業
- ・(福岡県)スポーツの総合祭典市町村対抗福岡駅伝

<グループ討議>

上記の講義、視察、施策紹介等を踏まえ、4班に分かれてグループ討議を行い、研修の最終日に、各班が政策提案について発表を行った。

○ 受講生からの意見

各県職員と議論することで多くの刺激を受けたことや、九州・山口各県のことを考慮して政策を考える機会を得たことを有意義ととらえるなど、概ね好評価であった。

今後の課題・取組

平成30年度も引き続き集合研修を実施予定。